

# 病害虫 防除だより

No. 386

令和8年4月7日

## オオムギ赤かび病の適期防除を!!

赤かび粒は、0.0%を超え(10,000粒中に5粒)混入すると規格外になります。赤かび病は、ムギの開花期頃に高温多雨で多発し、4月は平年より気温が高く、降水量も並みか多い予想で、**出穂期以降に気温が高く降雨が続く恐れが高く、例年以上に注意が必要です!!** 出穂・開花状況を確認し、適期に防除しましょう。



赤かび病被害(穂と粒)  
被害部はサーモンピンクで表面は粉っぽい

### 1 防除時期

※出穂期は平野部の早い所で既に始まっていますが、最盛期は10日頃の見込みです

**1回目は出穂5日後の開花始め～盛期**

**2回目は1回目の7～10日後**

**2回防除を徹底しましょう!!**

- ムギの開花状況をこまめに確認し、防除が遅れないようにする
- 液剤のほうが粉剤より効果が高くなる。粉剤は朝露で穂が湿っている早朝に散布すると効果が高い
- 希釈倍数をまもり、十分な量を散布する
- 薬剤耐性菌の発生を防ぐため、1回目と2回目の薬剤系統を変えるよう努めましょう!!(FRACコード参照)

### 2 大麦防除薬剤

※無人航空機とは、無人ヘリおよびドローンのことを指します

薬剤名	FRACコード	使用濃度	使用量(10a)	使用時期	使用方法	本剤の使用回数
トップジンM水和剤	1	1000～1500倍	60～150ℓ	収穫30日前まで	散布	3回以内 (出穂期以降は1回以内)
トップジンMブル	1	8倍	0.8ℓ	収穫21日前まで	無人航空機による散布*	
トップジンM粉剤DL	1	—	4kg	収穫14日前まで	散布	2回以内
シルバキュアフロアブル	3	2000倍	60～150ℓ	収穫14日前まで	散布	
		16倍	0.8ℓ	収穫14日前まで	無人航空機による散布*	1回
チルト乳剤25	3	1000～2000倍	60～150ℓ	収穫21日前まで	散布	
		8倍	800mL	収穫21日前まで	無人航空機による散布*	3回以内
トリフミン水和剤	3	1000～2000倍	60～150ℓ	収穫14日前まで	散布	
		2000～3000倍	60～150ℓ	収穫7日前まで	散布	3回以内
ワークアップフロアブル	3	10～24倍	0.8ℓ	収穫7日前まで	無人航空機による散布*	
ワークアップ粉剤DL	3	—	3kg	収穫7日前まで	散布	2回以内
ミラビスフロアブル	7	1500～2000倍	60～150ℓ	収穫14日前まで	散布	
		8～16倍	0.8ℓ	収穫14日前まで	無人航空機による散布*	3回以内
ストロビーフロアブル	11	2000～3000倍	60～150ℓ	収穫14日前まで	散布	

※小麦については、登録農業や使用時期などが異なるため、農作物病害虫防除指針等をご確認ください。

令和8年度農作物病害虫防除指針(福井県)が県HPから閲覧できます



◇◇◇最新の農業登録情報(<https://pesticide.maff.go.jp>)を確認して下さい◇◇◇

福井県農業試験場病害虫防除室

連絡先: 0776(54)9315

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/bouivo.html>

二次元コードをスキャンしてください

福井県病害虫防除室



農薬の飛散に注意しましょう

農薬の安全使用に努めて適期防除しましょう